

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公開番号】特開2004-175673(P2004-175673A)

【公開日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-024

【出願番号】特願2002-340191(P2002-340191)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/18 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/30 (2006.01)

A 6 1 K 8/72 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/00 U

A 6 1 K 7/00 A

A 6 1 K 7/00 B

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/00 J

A 6 1 K 7/00 L

A 6 1 K 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月25日(2006.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(4) 本発明の化粧品

本発明の化粧品は、上記必須成分である、水溶性高分子で被覆された金属酸化物を含む組成物と酸性物質を含む組成物とを保存状態に於いては隔壁された状態で構成されるものであり、この2つの組成物の少なくとも一方に発泡剤を含有することを特徴とする。このような必須構成成分の内、発泡剤は通常の状態に於いては気体であるため、本発明の組成物構成の内、このような発泡剤を含有する部分は、加圧状態で保存されることが好ましい。このようなことを実現する手段としては、吐出口で連結された、2つの独立されたチャンバーを有する、耐圧容器である。このような耐圧容器としては、例えば、特開昭57-183978号、特開昭62-220471号、特開平7-308725号などに記載された容器が好ましく例示できる。このような容器の2つのチャンバーに前記2種の組成物を充填し、密閉することにより、使用時にかかる2種の組成物を混合させ吐出させると、吐出時にはジェル乃至はクリーム状で、その後フォームを形成する形態を具現できる。このような形態をとることにより、フォーム状化粧料の持つなめらかな感触と密閉性の良さというメリットを生かしながら、温感を付与できる優れた化粧料が具現化できる。このような特質を生かす化粧料としては、例えば、フォーム状パック或いはフォーム状ひげ剃り化粧料などが好ましく例示できる。このようなフォーム状パックに於いては、パック効果に加えて温熱効果を付与できるし、フォーム状ひげ剃り料に於いては、毛を柔軟化し、ひげ剃りを効果的に行う

ことができる。